

(事後評価)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

実施機関：九州大学（総括責任者：石橋 達朗）

取組の概要

本事業では、世界的に注目を集めた九州大学の「女性枠設定による教員採用・養成システム（KASOKU）」をさらに充実させ、女性および若手人材の上位職ならびに管理職への登用を加速的に進める目的で、世界トップレベルのグローバル教員育成研修を企画し、これを実行する。

STEP1 透明性の高い審査による研修生の選出（実質的昇任審査）

STEP2 大学ガバナンス、ダイバーシティ・インクルーシブ教育

STEP3 英語でのアクティブラーニング型教授法教育

STEP4 留学生への英語での実践的研究指導

STEP5 最新学問分野等のリカレント教育

STEP6 最終試験：海外での実践的教育・研究指導

本研修で目標レベルに到達した教員には「認定書」を与え、テニユアの付与あるいは1段階の内部昇格を基本とする。本事業の達成目標は、上位職登用数50名（事業期間内）とする。研修プログラムの内容は研修生の業績データとともに公開する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
S	a	s	s	s	s

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

卓越した研究教育力を有し、グローバルに活躍できる女性教員及び若手教員の育成を目指し、「ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修（SENTAN-Q）」を創設した。透明性の高い審査により1期生から6期生まで60名の研修生を選定し、複数の海外トップ大学との密接な連携体制の下、海外メンターの指導による国際共著論文の作成、海外での実践的な学生の教育・研究指導を進めた。ライフイベントにも柔軟に対応しつつ、1期生から6期生まで60名の研修生の育成を進め、研修生による多くの大型研究費の獲得、各種学会賞等の受賞という成果を挙げた。研修を終えた4期生までの41名のうち37名が上位職への昇任を果たし、2名がテニユアを取得したことは高く評価できる。さらに、研修生から女性執行役員（副理事）2名が誕生したことは特筆に値する。「SENTAN-Q」は、海外トップ大学と国際的な連携体制を築き、女性教員及び若手教員の育成を進める先進的な取組として他機関の注目度が高く、事業の発展的な学内展開とともに、取組好事例として全国の大学へ広く普及させることを期待する。

- ・ **目標達成度**：「SENTAN-Q」の創設、運用を確実に進め、事業終了時点で研修生は60名に達し、そのうち37名が上位職へ昇任し、2名がテニユアを取得したことは評価できる。また、女性教員採用比率や指導的地位の女性比率は、目標を大幅に上回った。一方、女性教員比率に係る目標

は達成できておらず、今後は「SENTAN-Q」の全学展開等により早期に目標を達成することを期待する。

- **取組**：卓越した研究教育力を有し、グローバルに活躍できる女性教員及び若手教員の育成を目指す研修制度として「SENTAN-Q」を構築し、海外協力大学との密接な連携の下、運用を進めたことは高く評価できる。上位職登用を前提とした「SENTAN-Q」は、研究力、教育力、マネジメント力を総合的に強化する実践的かつ実効性の高い研修であり他機関への波及効果も高い。
- **取組の成果**：「SENTAN-Q」の体系的な研修プログラムの下、研修生の研究力強化と上位職登用が着実に進展しており高く評価できる。研修生 60 名から女性教授 21 名、女性准教授 17 名の登用が今後見込まれており、内 2 名は執行役員（副理事）に抜擢されるなどマネジメント層への登用実績も認められる。研修を介して異分野融合研究や文理横断型の学内ネットワーク形成も進展しており、全学的な波及効果も高い。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、「男女共同参画推進室」が事業実施母体となり、海外協力大学と密に連携し取組を推進する体制が構築されており高く評価できる。「男女共同参画推進室」担当副学長を増員し体制を強化しており、今後の展開が期待できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：「SENTAN-Q」が、人材育成に関する大学を代表する事業の一つとして第 4 期中期目標・中期計画に明記され、実施期間終了後も全学的な取組として継続されていることは高く評価できる。今後、「SENTAN-Q」をより広く全学に事業展開するため、「SENTAN-Q エクステンション (SENTAN-Q^{EXT})」の設置を検討しており、更なる展開が期待できる。